

令和2年度第2回『親の力』をまなびあう学習プログラム」ファシリテーターステップアップ研修 受講者「振り返りアンケート」集計結果

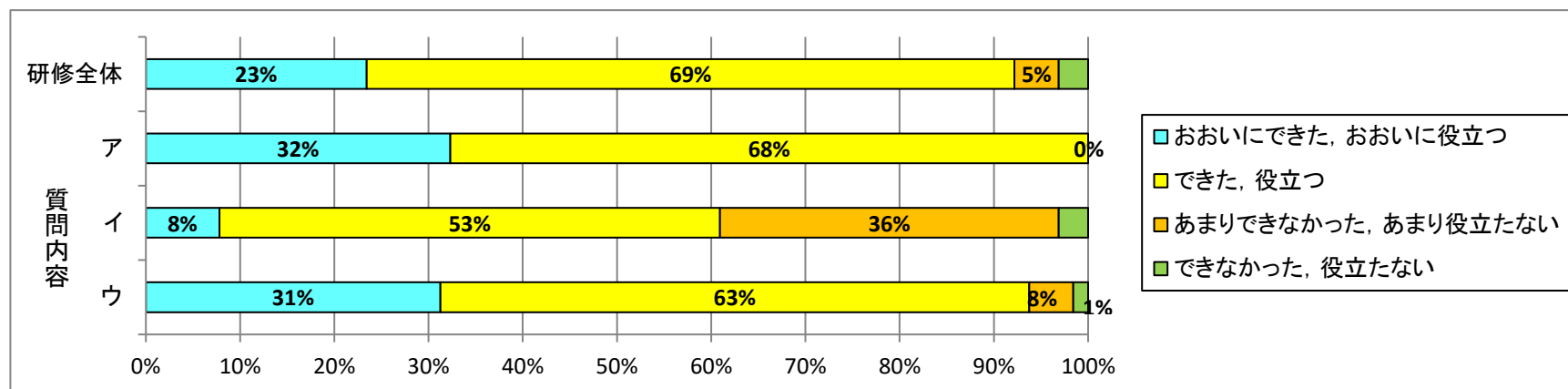
〈質問内容〉

研修全体：今回の研修で学んだことは、今後の活動に役立つものになりましたか。

ア：発表の内容は参考になりましたか。

イ：家庭教育支援が届きにくい家庭とのつながりについて意見を交流することができましたか。

ウ：講評から、今後の家庭教育支援についてのヒントを得ることができましたか。



〈記述内容から〉

- これまで、できない要素を考えることが多く、やらずに諦めてしまうことが結構あったように思います。一人ではなく、人や団体・機関を巻き込みながらやることだと思えます。その力をもらいました。
- 1つの講座等における選択肢の導入です。「この講座はこのやり方」というように1講座に対して1つのやり方を取り入れるのではなく、参加方法（オンラインと対面）、広報の媒体（紙、アプリ）、複数回の開催（出入り自由）など、1つの講座について複数の選択肢を設けることで、参加者の範囲も広がると学びました。
- 多方面の専門家の講義を聞かせていただく機会を持っていただけると嬉しいです。またせっかくこのコロナ禍のおかげで得たオンラインというツールを使って、これまでは考えられなかったような何かができるような気がします。アイデアをブレインストーミング風に、この「講座」というコミュニケーションの場を使って沢山の方から出してもらって、具体的な活動に落とししていくということをやってみるのも有意義と思います。何か新しい成果を出すことができるチャンスかもしれません。
- 講評で、失敗から学ぶ事の大切さと、「ファシリテーターはプロフェッショナルやスペシャリストでなく、熟練者、エキスパートを目指すのが大事」と言う事が心に残りました。